

2006年に本学図書館本館2階ロビーに一般の方のための「医療情報コーナー」を設置して早2年が経ちました。最近では「患者学」なる言葉も普及し、医療従事者でなくとも医療情報を入手できることが一般的になっています。大学や病院などの医学図書館による一般向けサービスや、公立図書館の医療・健康情報コーナーの整備などのほか、Web上での有益な情報も増えてきているので、いくつかご紹介します。

岩手県立中央病院「ひまわり図書室;医学情報プラザ」：研修を受けたボランティアスタッフが、一般医学書を中心とした蔵書を提供しており、より専門的な情報は、病院図書室との連携により提供されます。主治医が発行する「図書の処方箋」に基づいた資料を提供する体制も整えられています。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp9001/iphs/chuohp/himawari/newpage4.htm>

岩手県立宮古病院「患者さま図書室りあすの森」：来院者が医学書を含む一般書を自由に閲覧できます。<http://www.pref.iwate.jp/~hp9001/iphs/iph050/books.html>

岩手県立大船渡病院「かもめ図書室」：来院者が専門書を含む蔵書を自由に閲覧できます。http://oofunato-hp.com/treatment05_15.html

日本インターネット医療協議会「医療情報の利用の手引き」：数多ある情報を安全かつ適切に利用するためのポイントが、メディカルネチケットに基づいて提示されています。全ての情報収集に当てはまる内容で、一見の価値アリです。

<http://www.jima.or.jp/userguide1.html>

国立国会図書館テーマ別調べ案内「病気（疾病）別医療情報ガイド」：一般向けに医療情報を探す際の情報源について紹介しており、調べる手順を知るパスファインダーとして利用できます。<http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/guide.html#q08>

連想出版「闘病記ライブラリー」：「健康情報棚プロジェクト」による、闘病記専門の仮想図書館です。病名から図書を探し、表紙や目次を閲覧したり、所蔵館を調べたりすることができます。<http://toubyoki.info/index.html>

からだところの情報センター：生命科学系図書館員の編集による一般向け医療情報サイト集です。健康情報として食品に関するテーマが設けられているのが、特長の1つです。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmla/life/index.html>

*** 図書館トリビア ***

“生きている図書館”があります。元マフィア、移民、性転換者、難病を患い外見に様々症状が発症してしまった人など・・・市民がふだん近づきにくいと感じている人＝【偏見】を持たれる彼等の生き様こそが、この図書館の「本」であり、「生きている図書館」と呼ばれる所以です。彼らを図書館の「本」として招き、「読者」は、読みたい「本」を借り、30分間1対1で話を聞くことができるシステム。少しでも社会の偏見を減らせるよう「本」と「読者」の双方が意識を変え、互いの理解を深める必要性を訴えかける活動が世界各国に広がっています。

・生きている図書館の活動を紹介しているサイト「Living Library.org Take out our prejudice」

<http://living-library.org/what-is-the-living-library.html>

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 circ2303@lib.iwate-med.ac.jp まで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館